

2020年度入学生用

環境デザイン学科 履修モデル

※履修モデルはあくまでも目安です。また、このモデルでは履修単位数は最低限度で設定しています。これを参考にして、自分自身の4年間の学習計画を作ってください。

科目名の後の( )は修得できる単位数 / \*必修科目 #選択必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎 教育 科目	学修基礎 (4単位以上)	大学入門セミナー(2) 日本語表現Ⅰ(*2) キャリアデザインA(2) など	キャリアデザインB(2) など		
	芸術・デザイン (4単位以上)	1科目(2単位)以上	2科目(4単位)以上	1科目(2単位)以上	
	歴史・文化・社会 (4単位以上)	1科目(2単位)以上	1科目(2単位)以上	1科目(2単位)以上	
	科学・身体 (4単位以上)	1科目(2単位)以上	2科目(4単位)以上	1科目(2単位)以上	
	外国語 (5単位以上)	基礎英語Ⅰ(*1) 基礎英語Ⅱ(1) など	2科目(4単位)以上		
専門 教育 科目	芸術工学基礎 (20単位以上)	芸術工学概論(#2) 図学・製図基礎実習(2) コンピュータ基礎実習(2) デッサン基礎実習(2) など 6科目(12単位)以上	3科目(6単位)以上	1科目(2単位)以上	
	必修 (31単位)	環境デザインとはⅠ(*2) 環境デザインとはⅡ(*2) 建物のしくみ(*2) CAD基礎演習(*2) 環境デザイン基礎演習Ⅰ(*4) 環境デザイン基礎演習Ⅱ(*2)	環境デザイン実習Ⅰ(*5) 環境デザイン実習Ⅱ(*5)	環境デザイン実習Ⅲ(*5)	<リノベーションコース> 環境デザインプロジェクトA(*2) <建築コース> 環境デザインプロジェクトA(*2) <ランドスケープコース> 環境デザインプロジェクトA(*2) <まちづくりコース> 環境デザインプロジェクトA(*2)
	選択必修 (5単位)			<リノベーションコース> リノベーション総合実習(#5) <建築コース> 建築総合実習(#5) <ランドスケープコース> ランドスケープ総合実習(#5) <まちづくりコース> まちづくり総合実習(#5)	
	選択 (22単位以上)	現代の建築(2) 都市の歴史と住まいのかたち(2) など	建築空間のデザイン(2) 建築空間のプランニング(2) 建築と熱・光・空気の流れと安全(2) など	環境制御の技術(2) 構造デザインの実践手法(2) 構造・材料ワークショップ(2) 施工の技術(2) 建築と法規(1) リノベーションの理論と実践(2) まちづくりのしくみ(1) など	
	卒業研究 (10単位)				卒業研究(*10)

◎上記モデルにおける各学年ごとの履修単位数一覧

卒業に必要な単位	1年	2年	3年	4年	計	
基礎教育科目	36	14	16	6	36	
専門教育科目 芸術工学基礎	20	12	6	2	20	
専門教育科目 必修	31	14	10	2	31	
専門教育科目 選択必修	5	—	—	5	5	
専門教育科目 選択	22	4	10	12	26	
専門教育科目 卒業研究	10	—	—	10	10	
合計	124	44	42	30	12	128

※「環境デザインプロジェクトA(\*2)」は、必修科目ですが、建築士対応科目ではないので注意ください。

※「卒業研究」は、3年次修了時点で卒業要件単位数の合計が90単位以上であることが着手条件であり、単位がそれに満たない場合は履修できません。

※基礎教育科目は、各科目区分毎に定められた単位数を修得し、基礎教育科目の必要単位数を満たしてください。

※芸術工学基礎区分は、「芸術工学概論」「ユニバーサルデザイン」「自然とデザイン」「図像学演習」「アニメ史」「写真史・映画史」「ファッションデザイン概論」「工芸史」「現代美術」のいずれか4単位必修です。

※「環境デザインとはⅠ」は、E学科生においては専門教育科目の必修区分科目のため、芸術工学基礎区分には算入できないので注意してください。

※一級建築士受験資格(実務経験2年で受験する場合)を得るには、所定の必要な各区分科目及び単位数を修得し、合計60単位が必要となります。詳しくは、CAMPUS GUIDE 2020を参照してください。